

2023年10月16日

各 位

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社
 代表取締役会長兼社長 田邊勝己
 (コード番号：3823 東証スタンダード)
 問合せ先： 管理部長 藤原 学
 電話番号： (03) 4405-5460

第三者割当による第10回新株予約権、第11回新株予約権及び第12回新株予約権の
 取得及び消却並びに資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年3月15日付「第三者割当により発行される新株式及び行使価額修正条項付第10回新株予約権の募集に関するお知らせ」において開示しました第10回新株予約権（以下、「第10回新株予約権」といいます。）、2020年5月28日付「第三者割当により発行される新株式及び行使価額修正条項付第11回新株予約権の募集に関するお知らせ」において開示しました第11回新株予約権（以下、「第11回新株予約権」といいます。）及び2022年3月31日付「第三者割当により発行される新株式及び行使価額修正条項付第12回新株予約権の募集に関するお知らせ」において開示しました第12回新株予約権（以下、「第12回新株予約権」といい、第10回新株予約権、第11回新株予約権と併せて個別に又は総称して「本新株予約権」といいます。）につきまして、下記のとおり、2023年10月16日に残存する本新株予約権の一部を取得するとともに、取得後直ちに消却することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、当該取締役会において、第12回新株予約権と併せて発行した新株式及び第12回新株予約権の残存数の変更に伴う資金使途の変更を下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

1. 本新株予約権の取得及び消却

(1) 取得及び消却する新株予約権の概要

<第10回新株予約権>

(1)	新株予約権の名称	株式会社アクロディア第10回新株予約権
(2)	新株予約権の割当日	2019年4月1日
(3)	発行した新株予約権数	45,000個
(4)	新株予約権の払込金額	13,320,000円（第10回新株予約権1個当たり296円）
(5)	新株予約権の目的である株式の種類及び数	4,500,000株（第10回新株予約権1個につき100株）
(6)	行使価額	1株当たり134円
(7)	行使済みの新株予約権の数	42,124個
(8)	新株予約権の残存数	2,876個
(9)	取得及び消却する新株予約権の数	2,876個
(10)	新株予約権の取得金額	総額851,296円（第10回新株予約権1個当たり296円）
(11)	新株予約権の取得日及び消却日	2023年10月16日（予定）
(12)	消却後に残存する新株予約権の数	0個

<第11回新株予約権>

(1)	新株予約権の名称	株式会社アクロディア第11回新株予約権
(2)	新株予約権の割当日	2020年6月15日
(3)	発行した新株予約権数	37,000個
(4)	新株予約権の払込金額	12,358,000円(第11回新株予約権1個当たり334円)
(5)	新株予約権の目的である株式の種類及び数	3,700,000株(第11回新株予約権1個につき100株)
(6)	行使価額	1株当たり161円
(7)	行使済みの新株予約権の数	15,800個
(8)	新株予約権の残存数	21,200個
(9)	取得及び消却する新株予約権の数	21,200個
(10)	新株予約権の取得金額	総額7,080,800円 (第11回新株予約権1個当たり334円)
(11)	新株予約権の取得日及び消却日	2023年10月16日(予定)
(12)	消却後に残存する新株予約権の数	0個

<第12回新株予約権>

(1)	新株予約権の名称	THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社第12回新株予約権
(2)	新株予約権の割当日	2022年4月28日
(3)	発行した新株予約権数	67,800個
(4)	新株予約権の払込金額	20,204,400円(第12回新株予約権1個当たり298円)
(5)	新株予約権の目的である株式の種類及び数	6,780,000株(第12回新株予約権1個につき100株)
(6)	行使価額	1株当たり162円
(7)	行使済みの新株予約権の数	0個
(8)	新株予約権の残存数	67,800個
(9)	取得及び消却する新株予約権の数	30,800個
(10)	新株予約権の取得金額	総額9,178,400円 (第12回新株予約権1個当たり298円)
(11)	新株予約権の取得日及び消却日	2023年10月16日(予定)
(12)	消却後に残存する新株予約権の数	37,000個

(2) 本新株予約権の取得及び消却の理由

本新株予約権については、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が行使価額の下限(いずれも1株当たり100円。以下、「下限行使価額」といいます。)を下回る水準で推移していることから、その残数の行使は進んでいない状況にあります。また、第12回新株予約権と併せて発行した新株式の資金使途としておりました事業の立ち上げが進捗せず、今後も早期の立ち上げは見込めない状況にあります。そのため、当社は、本新株予約権に係る潜在株式について、本新株予約権の発行要項の規定に従い、2023年10月16日に第10回新株予約権の残存数2,876個のうち2,876個を行使価額である851,296円で取得及び消却、第11回新株予約権の残存数21,200個のうち21,200個を行使価額である7,080,800円で取得及び消却、並びに第12回新株予約権の残存数67,800個のうち30,800個を行使価額

である9,178,400円で取得及び消却することといたしました。

なお、第12回新株予約権の残存数67,800個のうち37,000個については当該新株予約権保有者と協議の上、取得及び消却しないことといたしました。

また、本新株予約権の取得に関して当社と利益相反状態にある当該本新株予約権保有者は、特別利害関係人として、当該本新株予約権の取得に係る取締役会の審議及び決議には一切参加しておらず、かつ、当社の立場で当該本新株予約権の取得の協議及び交渉は一切参加していません。

2. 資金使途の変更について

当社は、残存する第10回新株予約権及び第11回新株予約権の全てを取得及び消却することに伴い、調達額が当初予定額から変更されることとなりましたので、それぞれ具体的な使途の内容を以下のとおり変更することといたしました。さらに、第12回新株予約権に併せて発行した新株式により調達した資金の使途並びに、第12回新株予約権の一部を取得及び消却することに伴い、資金調達の内容も変化することから、それぞれ具体的な使途の内容を、以下のとおりに変更することといたしました。

第12回新株予約権に併せて発行した新株式について、新株式の割当先でもある興和株式会社（以下、「興和」といいます。）との協業案件について、①興和製品の販売のための当社「新ECプラットフォーム」開発は、当社と興和の間で想定していた内容が異なるなど、事前協議が十分ではなかったため未着手、②興和製品の販売のための当社「マーケティング・DX化」も、①と同様に事前協議が十分ではなかったため未着手、③興和との「新規IT事業」も、両社の協議が十分ではなかったため自社システムの開発が始動せず、④興和にサービス提供するための当社「医療系プラットフォーム」も、事前協議が不十分であったため未着手であり、①から④の状況は興和との協議の上今後も開始する見込みがない状況であり、現時点では、当初の資金使途での充当による投資の実行の目処がたっておりません。新株式の調達資金は、当社の預金口座で保管をしておりましたが、当初見込んでいた事業が進捗しない中、新型コロナウイルスの影響等により落ち込んでいた売り上げの減少の回復が大幅に遅れており、継続的な営業損失を計上しているところ、その間に実施したエンタテインメント事業等の新たな事業の開始等に伴う子会社への資金貸付等が発生したことから、この間の運転資金として充当いたしましたので、資金使途の変更を行うこととなりました。

また、現時点において第12回新株予約権の行使は進んでいない状況にあります。消却後に残存する第12回新株予約権37,000個については、上述のとおり、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値は、現在の行使価額である162円を大幅に下回り、また行使価額の修正を行ったとしても、下限行使価額は100円で、現在の株価水準はこれも下回る状況であることから、今後行使される可能性は高いとは言えません。仮に行使された場合には、運転資金として充当してまいります。

<第10回新株予約権>

〈変更前〉

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
① 渋谷肉横丁社成長投資資金	469百万円	2019年4月～2024年3月
② 新規インターネットサービスの開発・初期運営資金	319百万円	2019年4月～2024年3月

〈変更後〉

調達する資金の具体的な用途（変更箇所の下線を付して表示しております）

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 渋谷肉横丁社成長投資資金	346 百万円 (充当済金額： 151 百万円) <u>(※)</u>	2019 年 4 月～2024 年 3 月
② 新規インターネットサービスの開発・初期運営資金	319 百万円 (充当済金額： 319 百万円)	2019 年 4 月～2024 年 3 月

※調達資金のうち、①の未使用の残高（現金）として、195 百万円があります。なお、調達予定額との差額の 123 百万円は対応する第 10 回新株予約権の行使が完了しなかったため、残部はございません。

<第 11 回新株予約権>

〈変更前〉

調達する資金の具体的な用途

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 当社の運転資金	140 百万円	2020 年 9 月～2021 年 8 月
② <u>飲食関連事業の拡充</u>	<u>100 百万円</u>	<u>2020 年 6 月～2025 年 6 月</u>
③ スポーツ IoT 等 IT 投資	200 百万円	2020 年 6 月～2025 年 6 月
④ 新規事業の拡充	267 百万円	2020 年 6 月～2025 年 6 月

〈変更後〉

調達する資金の具体的な用途（変更箇所の下線を付して表示しております）

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 当社の運転資金	140 百万円 (充当済金額： <u>140 百万円</u>) <u>113 百万円</u>	2020 年 9 月～2021 年 8 月
② スポーツ IoT 等 IT 投資	(充当済金額： <u>113 百万円</u>) <u>42 百万円</u>	2020 年 6 月～2025 年 6 月
③ 新規事業の拡充	(充当済金額： <u>42 百万円</u>)	2020 年 6 月～2025 年 6 月

<第 12 回新株予約権と併せて発行した新株式>

〈変更前〉

調達する資金の具体的な用途

具体的な用途	金額	支出予定時期
--------	----	--------

① <u>興和製品の販売のための当社「新ECプラットフォーム」開発資金</u>	<u>150 百万円</u>	<u>2022 年 4 月～2023 年 7 月</u>
② <u>興和製品の販売のための当社「マーケティング・DX化」開発資金</u>	<u>100 百万円</u>	<u>2022 年 10 月～2023 年 7 月</u>
③ <u>興和と「新規 IT 事業」を行うための自社システム開発資金</u>	<u>250 百万円</u>	<u>2022 年 6 月～2024 年 5 月</u>
④ <u>興和にサービス提供するための当社「医療系プラットフォームフォーム」開発資金</u>	<u>50 百万円</u>	<u>2022 年 4 月～2022 年 12 月</u>
⑤ <u>スポーツ IoT 開発資金</u>	<u>50 百万円</u>	<u>2022 年 7 月～2023 年 6 月</u>
⑥ <u>ブロックチェーン開発資金</u>	<u>92 百万円</u>	<u>2022 年 6 月～2023 年 9 月</u>

〈変更後〉

調達する資金の具体的な用途（変更箇所の下線を付して表示しております）

具体的な用途	金額	支出予定時期
① <u>スポーツ IoT 開発資金</u>	<u>97 百万円</u> (充当済金額： <u>97 百万円</u>)	<u>2022 年 7 月～2023 年 9 月</u>
② <u>ブロックチェーン開発資金</u>	<u>57 百万円</u> (充当済金額： <u>57 百万円</u>)	<u>2022 年 6 月～2023 年 9 月</u>
③ <u>小室哲哉氏への貸付金</u>	<u>235 百万円</u> (<u>※</u>) (充当済金額： <u>235 百万円</u>)	<u>2022 年 9 月～2022 年 12 月</u>
④ <u>運転資金</u>	<u>303 百万円</u> (<u>※</u>) (充当済金額： <u>240 百万円</u>)	<u>2022 年 9 月～2027 年 4 月</u>

※③小室哲哉氏への貸付金 235 百万円（小室哲哉元取締役個人の借入の返済を資金用途とする。）。なお、当社は、2022 年 8 月より、著名アーティストの小室哲哉氏を迎えて新たにエンタテインメント事業を開始することになりました。小室哲哉氏は個人的な借入の返済のための資金繰り活動に多くの時間を費やしており、アーティストとしての才能を発揮して創作活動をするための時間が大幅に制約されておりました。当社は、このような小室哲哉氏の状況を考慮しより多くの時間を同氏の創作活動のために確保することが、当社のエンタテインメント事業へ資することとなり、同事業の成長発展に繋がるものと判断し資金支援をすることといたしました。この支援により、同氏の資金繰りには目途がつき、今後同氏はアーティストとしての創作活動に専念出来ることになりました。なお、今後は同様の資金支援をする予定はございません。

④運転資金の内訳は、赤字に伴う当社労務費（開発原価に分類される人件費）50 百万円及び人件費（販売費及び一般管理費に分類される人件費）109 百万円、外注費（注）80 百万円 です。なお、未使用残高は 62 百万円です。

（注）通信会社向けサーバー運用及び保守費 32 百万円、インターホン向けサーバー運用及び保守費 1

百万円、ソーシャルゲーム運営費 45 百万円、その他外注費 1 百万円となります。

< 第 12 回新株予約権 >

(変更前)

調達する資金の具体的な用途

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 「新 EC プラットフォーム」 開発資金	250 百万円	2023 年 8 月～2024 年 12 月
② 「マーケティング・DX 化」 開発資金	100 百万円	2023 年 8 月～2024 年 4 月
③ 「新規 IT 事業」 開発資金	300 百万円	2024 年 6 月～2026 年 10 月
④ 「医療系プラットホーム」 開発資金	260 百万円	2023 年 1 月～2024 年 12 月
⑤ スポーツ IoT 開発資金	50 百万円	2023 年 7 月～2024 年 6 月
⑥ ブロックチェーン開発資金	50 百万円	2023 年 10 月～2024 年 12 月
⑦ 運転資金	101 百万円	2022 年 9 月～2024 年 8 月

(変更後)

調達する資金の具体的な用途 (変更箇所^①に下線を付して表示しております)

具体的な用途	金額	支出予定時期
① 運転資金	<u>612 百万円</u> ※ (<u>充当済金額</u> : <u>12 百万円</u>)	2022 年 9 月～ <u>2027 年 4 月</u>

※運転資金の金額は、現時点の行使価額 1 株当たり 162 円に残存する予約権の目的となる株数 3,700,000 株を乗じて得られる金額と発行価額の合計から発行諸費用を差し引いた金額です。上述のとおり、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値は第 12 回新株予約権の現時点での行使価額を大幅に下回る状態が継続しており、当社としては第 12 回新株予約権の行使により資金を調達できる見込みは低いと考えております。資金が調達できた場合には当社の銀行預金口座で適切に管理し、運転資金として有効に活用いたします。

3. 今後の見通し

本件による業績への影響は、「2. 資金用途の変更について」に記載のとおり、興和との協業案件について実行の目的が立っていないため、現時点では算定が困難です。今後、協業案件の再開等、開示すべき事項が発生しましたら、速やかに開示いたします。

以 上